

なんこく 市議会だより

No. 100

令和4年(2022年) 2月号

主 な 内 容

《12月定例市議会》……………P2～3
概要、主な可決議案など

《11月臨時市議会》……………P3
新正副議長決定

《12月議会一般質問》………P4～13

《議決結果一覧》……………P13～14

《各種委員会委員の決定》……………P15
常任委員会・議会運営委員会
特別委員会

《創刊から25年》……………P16
・議会だより発行100回に到達

◆ 表紙写真 ◆

1月9日、南国スポーツパークのグラウンドで消防出初め式が行われました。2年ぶりとなる出初め式には、消防団員ら400名が参加。消防団に新たに配備された車両の紹介や救命索発射銃の実演、初期消火訓練などが行われました。



発行／南国市議会
E-mail:n-gikai@city.nankoku.lg.jp

編集／市議会だより編集委員会
南国市大堀甲2301 TEL 088-880-6570 FAX 088-864-3281



第424回 12月定例会

令和4年4月ごみ袋値下げへ 可燃ごみ袋が1枚5～15円の値下げ 一般会計補正予算は5億3,517万円の増額計上

12月定例会初日、9月議会において継続審査となっていた令和2年度の決算議案10件について、所管の常任委員会よりいずれの議案も認定とする委員長報告があり、採決において全議案が認定となりました。

その後、各常任委員及び議会運営委員の任期満了に伴い、新たな委員の選任が行われました。(15ページ参照)

委員選任後、市長より、市政報告があり、その後、今議会へ提出された議案の提案理由が説明されました。

7日から10日までの4日間は、17名の議員

第424回定例会市議会は、12月3日から16日までの14日間の会期で開かれました。

本定例会では、市長提案の議案18件、報告3件、意見書1件、議員発議の決議2件の審議が行われ、全議案を可決・同意し、意見書1件、議員発議の決議1件を可決しました。

また、9月定例会市議会から継続審査の令和2年度の決算議案10件を認定しました。

から、新型コロナウイルス対策、防災などについて、市長や教育長、関係課長へ一般質問が行われました。

13日は提出議案への質疑と人事案件4件の採決が行われ、人事案件を同意し、残余議案が所管の常任委員会へ付託されました。

14日には各常任委員会で付託議案を審査し、16日の閉会日には、各常任委員長から審査結果の報告があり、採決では、全議案が原案のとおり可決となりました。

同日には、議員から「保育所等の最低基準（職員配置・面積基準）」と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書」が提出され全会一致で可決しました。

また、議員発議による「地域交流センター建設工事請負契約調査特別委員会設置に関する決議」、動議による「南国市中央地域交流センター（仮称）建設工事請負契約金額変更に係る専決処分のうち、壁画制作にかかわる増額分の調査に関する決議案」が提出され、採決では「南国市中央地域交流センター（仮称）建設工事請負契約金額変更に係る専決処分のうち、壁画制作にかかわる増額分の調査に関する決議案」を賛成多数で可決し、閉会しました。

◆ 12 月定例会市議会 市政報告 ◆

接種が終了した時期に
応じて、順次接種券を
お送りしている。

本市の新型コロナウイルススワクチン接種について、11月1日現在、接種対象者の80・8%が1回目を、77%の方が2回目の接種を終了している。1回目の年代別接種率は、10代68・7%、20代70・7%、30代71・4%、40代77・3%、50代84・5%、60代84・9%、70代以上は87・7%となっている。11月の予約の推移から、ワクチンの集団接種は12月5日をもって終了したが、未接種の方が接種を希望される場合には、引き続き、個別医療機関において対応していく。

◆ 12 月定例会市議会 主な可決議案 ◆

議案第1号

一般会計補正予算
補正予算の規模は、
5億3517万8千円
の増額計上。

主な歳出は次の通り。
▽総務費関係／ふるさと
応援基金積立金、
ふるさと寄附金事業
費

▽民生費関係／障害者
自立支援給付事業費
▽土木費関係／街路事
業、高知南国線整備事
業費、吾岡山文化の
森公園法面等復旧工
事等に係る公園費

▽教育費関係／日章小
学校昇降機棟増築工
事、施設設計業務委託
等に係る小学校管理
費

議案第11号

国民健康保険条例の
一部を改正する条例

産科医療補償制度の
掛金の引下げを踏まえ、
出産育児一時金の支給
額を引き上げることか
ら、本条例の一部を改
正するものです。

議案第12号

廃棄物の処理及び清
掃に関する条例の一部
を改正する条例

可燃ごみ袋に係る手

数料の額を減額するこ
とにより、市民の直接
的な負担軽減を図るた
め、本条例の一部を改
正するものです。

【一般家庭用の可燃ご
み袋1枚の額】
(変更前→変更後)
・小袋／20円→15円
・中袋／30円→20円
・大袋／45円→30円
*令和4年4月1日か
ら値下げ

議案第15号

教育委員会教育長の
任命の同意について

教育委員会教育長の
竹内信人氏は、令和4
年1月15日で任期満了
となります。同氏を引
き続き教育長として任
命するため、議会の同
意を求めるものです。

議案第17・18号

人権擁護委員の推薦
について

南国市人権擁護委員

の國沢知子氏と村山恵
子氏は、令和4年3月
31日で任期満了となる
ため、高知地方事務局
長からその後任の推薦
依頼がありました。両
名は人権擁護委員に委
嘱されて以来、その在
任期間中における実績
から適任者と考え、引
き続き両名を推薦する
ため、議会の意見を求
めるものです。
(議決結果一覧は14ペ
ージ参照)

◆ 第423回 臨時議会 ◆

－ 新正副議長が決定 －

11月5日の第423回臨時議会で正副議長選挙を行い、議長に浜田和子議員、副議長に岩松永治議員が選出されました。

また、副市長として村田功氏の選任が同意されたほか、議員選出の監査委員として土居恒夫議員の選任も同意されました。



浜田和子 議長



岩松永治 副議長

◆ 主な可決議案 ◆

議案第5号

副市長の選任の同意について

副市長として、村田功氏を選任するにあたり議会の同意を求めるものです。

議案第6号

監査委員選任の同意について

議会選出の監査委員の辞職に伴い、後任の監査委員として、土居恒夫議員を選任するにあたり議会の同意を求めるものです。

(議決結果一覧は13ページ参照)

執行部に問う

一 般 質 問



南国市議会 YouTube
これまでの議会中継も
ご覧になれます

12月議会では、感染症対策・防災・公共交通・都市計画など市政全般について4日間にわたる一般質問が行われました。それぞれの質問内容の一部を要約して紹介します。

◇12月議会で行われた主な質問項目◇ (質問順)

- 1 村田敦子 ①生活保護について②ヤングケアラー(児童・生徒の状況調査と必要な支援の無償提供)③就学援助(オンライン学習通信費とクラブ活動への援助)④市営住宅の環境整備
- 2 今西忠良 ①第49回衆議院議員総選挙②投票環境の充実と効率化③新型コロナウイルス感染症(ワクチン接種の現状と3回目接種、接種証明書、新たな変異株のオミクロンへの対応)④コロナ禍における経済対策
- 3 西山明彦 ①市長の政治姿勢(令和4年度予算編成に向けて、庁内体制と事務改善、市有財産の管理)②子育て支援(保育所の施設整備、子育て世帯の負担軽減)③環境行政(ごみの減量化)
- 4 神崎隆代 ①ワクチンに関して②高齢者政策③保育行政(紙おむつの園内処分、リサイクル)④車椅子利用者への配慮(庁外のトイレの改修、雨天時の駐車場利用)⑤ホームページ(更新、チェック体制)
- 5 中山研心 ①18歳以下給付金②税の公平性③マイナンバーカード制度④電子自治体の推進
- 6 土居恒夫 ①市長の政治姿勢(「聴く人」をどのように生かすか、シンボルロード)②選挙について(投票率向上)③文化芸術について④地元の課題について(防災、道路の冠水など、環境「ヤスデ対策」)
- 7 植田豊 ①ドローンオペレーターの養成②避難所における備蓄(公的備蓄・流通備蓄・個人備蓄)③通学路の安全確保④多言語通話システム
- 8 西川潔 ①上倉・瓶岩地区の現状と課題について(現状をどのように認識しているか、課題解決のための取組「生活用水・デマンドタクシー道路整備・農林業への支援策など」人口定着の施策、防災対策)
- 9 福田佐和子 ①今年の市民賞受賞②コロナ対策の支援は全ての市民に③開発や危険箇所の規制と改善を④スポーツセンターへのバス運行⑤国保税の子どもの均等割軽減について
- 10 斉藤喜美子 ①中学校の制服選択制、リユースについて②わんわんパトロールの経過と現状③高知県動物愛護教室④移住促進計画の今までと今後の展望(香美市の「いなかみ」の話を踏まえて)
- 11 丁野美香 ①自転車でのヘルメット着用について②防災について
- 12 有沢芳郎 ①市の課題について②圃場整備について③プール改修について④学校の体育館のメンテナンスについて⑤引きこもり・登校拒否のきっかけ調査について
- 13 野村新作 ①衆議院議員総選挙(法定ビラ、公職選挙法を守れ)②職員の事故③市道管理
- 14 土居篤男 ①市長選立候補時の政策実行(住みやすい南国市の人口目標とは)②RCEP協定の影響について③都市計画法の見直しについて④ものづくりについて
- 15 浜田憲雄 ①南国スポーツパークの現状・使用状況・整備内容②防災対策(二次避難所、ペットボトル飲料水の配備状況と簡易型浄水器の配備、浜改田後川橋架け替え工事の概要、東沢工事用道路の整備計画)
- 16 前田学浩 ①事前復興(高知県事前復興まちづくり計画策定指針検討委員会、南国市での現状)②公共交通(前浜パークタウン線の朝夕を除いたコミュニティバス化)
- 17 岩松永治 ①南国スポーツパークについて②Live119について③南国市自動車安全運転管理規程について④公共施設等の喫煙所について

村田敦子 議員



生活保護認定と物価

問 厚生労働省の発表では、コロナ禍等で前年同月より5か月連続生活保護申請者が増加しているが、本市では減少。生活困窮で保護を申請したいのに他の支援窓口につなぐ等の水際作戦では。

答 援助が必要な市民については、本人の申請意思の確認ができれば必ず申請を受理することが大切だと考えている。本市において、俗に言う水際作戦は行われていないと確信している。今後も引き続き職員の資質向上にも努め、市民に寄り添った支援のできる専門職員としての生活保護現業員や相談支援員の育成

に努めていく。

問 原油価格高騰で生活困窮者への灯油購入費助成に総務省が特別交付税を出す。市も利用を。

答 生活困窮者等に対する福祉灯油等の給付に關して特別交付税措置はあるが、県内では山間部等の地域でも、灯油購入費の助成等を行っている市町村はなく、現時点では市独自の補助は考えていない。実際に行う場合でも、制度的にどのような形で灯油代の補助を行うのか、また、灯油を使わない電化住宅等の世帯への補助の方法など、幾つかの課題もある中で、現実的にはすぐ対応ということは難しいと考えている。

市営住宅の環境整備

問 ドアポスト蓋の劣化で、新聞等を差し込むと開いたまになり外気が入る。修繕を。

答 市営住宅のドアポストについては、ばねのあるものもないものがあるが、ばねが経年劣化等により壊れて機能

が果たせない状態になっていけば、修繕等の対応をする。また、入居中の市営住宅のドアポストの修繕については、一度市の住宅課に連絡していただき、そのものを確認してからの対応になると思う。

問 空き家の大草は、害虫害獣のすみかとなったり、種が飛んで近隣にも草木を生やすなど、住環境を悪化させる。手入れを求める。

答 市営住宅の空き家の雑草木については、草刈りなどの対応をしている。また、近隣入居者の方から苦情をいただいた場合には、別途対応させていただいている。

今西忠良 議員



ワクチン3回目接種への取組

問 3回目となるコロナウイルスのワクチンの追加接種「ブースター接種」が12月から始まった。変異株「オミクロン株」が国内でも確認され、警戒感が高まっている。ワクチン接種に向けた今後の取組とタイムスケジュールを問う。

答 原則として2回目の接種が終了してから、おおむね8か月以上たつ方から順番に接種券をお送りする。8月1日までに接種が終了した65歳以上の対象者で、南国市の準備する接種会場で接種した方については、予約時の混乱を避けるた

めに、接種場所、日時を指定して送らせていただく。

それ以外の方については、接種場所、日時の指定は行わない。1、2回目の接種と同じく、お送りする接種券には予約用のID・パスワードが記載されているので、平日が希望の方は個別接種を、土日が都合のいい方は集団接種を選んでいただき、コールセンターかウェブサイトで予約していただくようになる。

コロナワクチン接種相談窓口

問 独り暮らしの大学生や12歳以上の子供たちは、ワクチン接種の副反応とその対応策に関心を寄せている。市民に対して正確な情報発信と疑問に丁寧に答えることが大切だ。保健福祉センター内での市民相談の内容と件数を問う。

答 4月～11月の合計で3148件の相談件数となっている。医療関係の相談に対しては保健師に確認したり、県の健康相談センターを案内するなど、市民の不安に寄り添い、ほとんどの相談に対して解決を図っている。内容は、当初は電話がつかない、接種券が届かないという苦情が多く見受けられたが、最近はアレルギーや持病があるが接種したほうがよい、3回目の接種券はいつ届くのかという接種全般に関する質問が多くなっている。相談窓口以外にも、保健福祉センターの通常回線には新型コロナウイルスに関する苦情、相談の電話が常にかかっている。保健福祉センター職員全体で対応している。

西山明彦 議員



子育て支援

問 明見保育所の駐車場・ホール等の整備の進捗状況を問う。

答 現在周辺の農地の地権者に、用地を購入させていただけないかをお願いし、一定の理解をいただいているが、購入まで至っていない。今後もし引き続き早急に理解、協力をいただければ、よう努めていきたい。

協議し、統合ではなく、移転先についてそれぞれ検討するようにした。吾岡保育園は、具体的な移転先を考えられており、移転先の関係者に協力をお願いもし、また地権者にも協力をお願いする予定だ。

問 民設民営の吾岡保育園は特に市の財政支援が必要。市の対応は。

答 現在の園舎の建築時に法人が借り入れた借入金とその利息について、昭和51年度から平成3年度まで市から法人に補助を行っていた。建て替えの際には、こういった財政的支援を行いたい。

問 本山町は小中学校給食費の無償化に取り組んでいる。保育の副食費無償化と同様に、学校給食費を無償化、あるいは少しでも負担軽減できないか。

答 現行の給食費で提供していきたいと考えており、今は値下げ、

無償化の検討はしていない。

子育て世帯の負担軽減は今までも考えてきたところなので、今後検討していくことはあると思う。

ごみの減量化

問 ごみ袋値下げは、ごみの減量化に努めている人には恩恵が少ない。減量化に努力する人も恩恵が受けられる施策を検討すべきでは。

答 ごみの減量化、分別の徹底に努力をされている方々に厚く御礼を申し上げるところだ。恩恵が受けられる案は浮かんでいないが、香

南清掃組合と3市で組織している、高知県中央東部地区環境行政連絡協議会で今後検討していきたいと考えている。

神崎隆代 議員



保育行政

(使用済紙おむつ)

問 使用済紙おむつ処理の現状は。

答 公立施設では、紙おむつに関しては持ち帰りをお願いしており、民間保育園では、園処分が半分、持ち帰り半分となっている。

問 園内処分となった場合、公立、民間共に市が処分費用の計上はできないか。

答 園内処分をする保育施設に必要となった費用を確認して、予算の計上が必要か検討し、経常的に処分費用がかかるようなら、財政課とも協議の上検討していくことになると思う。

問 環境省がガイドラインを策定しているが、

使用済紙おむつを燃やさずにリサイクルすることへの見解を問う。

答 本市において使用済み紙おむつは、汚物をトイレに捨て、可燃ごみ袋に入れて処理することになっているが、

今後は情報収集に努めるとともに、香南清掃組合と3市で組織している高知県中央東部地区環境行政連絡協議会で検討していきたいと考えている。

車椅子利用者への配慮

問 庁舎隣接の障がい者用トイレの改修は。

答 南国市身体障害者協議会長に現状の障害者トイレについて相談

し、多くの意見をいただいた。利用される障害者に喜んでもらえるようなトイレに改修したいと考えている。現在、障害者用トイレの改装のための設計費及び工事費について、来年度当初予算に計上するべく手続を行っている。

問 車椅子の乗降は時間を要する。車寄せでの乗降の際、気兼ねなく乗降できるように配慮した看板等の設置を求める。

答 時間がかかっても安全に乗降することが大切なので、周知の看板等の設置について検討する。

問 自ら運転し来庁する車椅子利用者が雨天時に濡れない対策を。

答 庁舎前はトラック等も通行するため、現在の障害者用駐車場から庁舎までの雨よけの屋根の設置は難しい。庁舎に隣接した駐車場を新たに整備し、ひさし等でカバーする方法も考えられるが、現状ではそのスペースがなく、どのように対応できるのか研究させていただきたい。

中山研心 議員



18歳以下給付金

問 市内には、ランドセルや学習机を買い与える店舗も少なく、クーポン支給による経済刺激効果も少ないことから、全額現金支給することを検討してはどうか。

答 18歳以下の子供に對する1人10万円の給付金の狙いと目的は、子育てする上で新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世代を支援することだと考えている。

南国市では全額を現金支給にすることを検討してはという提案だが、5万円は現金支給をまでするということについて、残り5万円部分については、まだ制度の詳細がはっきりしていない。

ないので、制度の詳細の情報を収集し、判明した後判断をしたいと思っています。

マイナンバーカード制度

問 マイナンバーカードの運用にあたっては、むやみに個人情報をもつて、国家による監視強化に積極的に加担することのないように留意すべきだ。

答 マイナポイント事業に関しては、マイナンバーカードは単なる認証ツールとして利用されるもので、これによりマイナンバーカードにキャッシュレス決済に関する情報が登録されたり、国が個人のキャッシュレス決済のデータを把握するため利用することはないと伺っている。また、このことにより市民への行政サービスが向上することは想定していない。

行政事務においても、独自で条例で定めることによって、例えば市が発行している他のカードの機能をマイナンバーカードに持たせることも可能だが、南国市は現在独自利用は行っていない。マイナンバーカードに法令で定められた情報以外の情報をひもづけて利用することは法律で認められておらず、目的外に利用することは前提としてないと考えている。国会の議論でもいろいろあるかと思うが、目的外の使用がされないようなチェック機能もなされていくのではないかと考えている。市では情報管理は慎重に扱っており、個人情報の保護を大切にしていきたいと思っている。

土居恒夫 議員



シンボルロードについて

問 JR後免駅前広場の整備で「歩いて楽しいまちづくり」として、市長の思い描くものは何か。

答 海洋堂Space FactoryなんこくとJR後免駅前の広場の間をつなぐ人の流れができないかということを最初に考え、歴史的資源や物づくりの歴史など様々な魅力を紹介でき、市の海洋堂をはじめ、アンパンマンロードといった資源を合わせて、魅力のある楽しいロードが造れないかと考えたところだ。

問 シンボルロードと

駅前広場についてパブリックコメントを募集していたが、応募状況や内容について問う。

答 市民からは55件の応募があった。主なアイデアの内容は、キャラクターなどが飛び出すからくり時計の設置、アンパンマン列車の展示、海洋堂の手がけたオブジェ・フィギュアの設置、屋根つきの駐輪場やバス停の設置、駐車場の拡張、バリアフリーの道路、休憩用のベンチのある憩いの広場の設置、夜のイルミネーションや蓄光石を使った歩道の演出、まち歩きが楽しくなるような仕掛け、商店街の出入口に「ごめんまち」というゲートを設置、インパクトを強くし、商店街の街灯のリニューアルなどの意見が出された。

や図書館など文化の箱はできつつある。文化芸術の持つ多様な価値を生かした実践的な文化芸術策を推進していくため、施策の進捗状況を審議する審議会等の設置も含めた、文化芸術振興条例の制定を求める。

答 文化芸術基本法第37条では、市町村文化芸術推進会議等の規定があり、条例で定めるところにより、審議会、その他の機関を置くことができることとされている。これまで、市美術展覧会以外、これといった施策も実施できていないこともあり、多様な取組を展開していくことは必要であると考えている。

計画だけをつくるのか、あるいは条例からいくのかということだが、条例の制定について他の自治体の例も参考として取り組んでいきたい。

文化芸術振興条例

問 地域交流センター

植田 豊 議員



ドローン導入と
オペレーター

問 業務の効率化の観点から、行政でドローンを導入する事例があるが、それを間違いない操作する技術の養成も必要だ。市はどのような目的で導入しているのか。また、操縦に係わる職員の研修等の実績について問う。

答 消防本部では、ドローン1機を運用し、災害時の上空からの状況確認、火災現場での調査、行方不明者の捜索活動に利用している。研修は、実技教習及び約10時間の飛行訓練を実施した。

農業委員会では、現地確認に費やす時間の短縮と農地の状況を正

確に把握することを目的として、ドローンを1機導入。空港周辺や中心街の人口密集地域を除く地域において、主に農地パトロールや定例総会で審議すべき農地の確認に使用している。操縦は、農地利

用最適化推進委員の中から4名が現地確認に当たり、そのうち1名は産業用マルチローター教習を受講している。事務局職員も操縦する場合もあるが、講習は受けていない。

危機管理課においては、被災状況の把握等に活用し、迅速な罹災証明の発行につなげたいと考えているので、今後、オペレーターの養成も検討したい。

通学路の安全確保

問 今年9月の県議会で、伊藤教育長が「通学路の安全確保の為、県内500か所で対策を進める」と答弁され

ているが、南国市内の危険対象場所についていつまでにどのような対策をするのか。

答 主な対策として、ミラー、看板や防犯灯の設置、横断歩道の塗り直し、グリーンベルト等の補修などとなっており、ハード面の対策が困難な箇所は、交通量の多い横断歩道にはスクールガードリーダーの配置を重点的に行ったりと、地域の登下校の見守り隊による安全指導の協力をお願いするようにしている。

予算計上を伴う箇所もあり、担当機関の事情や優先順位もあつて、一律にいつまでにと申し上げられないが、それぞれの箇所の状況等について、対策予定等が閲覧、確認できるように、来年1月には市のホームページにアップするように、現在準備を進めている。

西川 潔 議員



デマンドタクシーの
運行について

問 前日予約から当日1時間前までの予約に変更することや、若い人や学生が利用しやすい時間帯、午後6時頃までの往路及び午後10時頃までの復路、デマンドタクシーとバスの

結節点を柔軟にする点について所見を問う。

答 デマンド型乗合タクシーの運行については、これまでも毎年のダイヤ改正の際の乗り継ぎの調整のほか、運賃の引下げ、また増便などの改善も行ってきたところだ。さらにほかの自治体の運行例の研究も含めて、来年度の次期交通計画策定作

業の中でしっかりと検討していきたいと考えている。

現在、高齢者を対象の路線という意味合いになっているので、通学も含めて、いろいろな生活に使いやすい交通にどうしていくかというところについては、いろいろなやり方もあると思うので、検討させていただきたいと思う。

安心の地域づくり

問 中山間地域は多くの課題を抱えている。隣接する土佐山地域とは、道路整備、デマンドの運行方法、人口定

着策、産業振興など格差は歴然。違いは地域振興課があり、総合的な対応、施策をしている。上倉・瓶岩地区の課題を総合的に担当する部署の設置を求める。

答 土佐山は高知市と合併して十数年ぐらいなので、そういった組

織が継続してきているということもあるかと思う。

南国市の場合は、中山間対策は、それぞれ担当課が対応しているが、公共交通や水の問題など、どのようにトータルで整備していくかというすり合わせ、情報共有がなされてないことは痛感している。現在窓口になっている企画課と機構の話にもなるので、横の連携が取れるような形を考えていきたいと思う。

大型プロジェクトも進めている中で、どういった形が取れるのか、例えばプロジェクトチームで課題を持ち合っ

福田佐和子 議員



澤本吉子さんの
市民賞受賞

問 半世紀にわたり、法も制度もないときから、働く親と子どもたちのため、乳児保育所コスモスを立ち上げ、放課後の子どもの居場所となる学童クラブを全校に広げるなど、力を尽くされた。受賞にあたり、市長の所感とこの功績を教育・保育にどう生かすかを問う。

答 今回、市民賞を受賞された澤本吉子様は、教育文化の分野において、特に学童保育の発展には大いに貢献され、すばらしい業績を残されてこられた。今後も、その豊富な識見と経験を生かされて、本市の一層の発展のために引

き続き御尽力賜るようお願いしたい。

教育委員会としても、教育の質的向上と子育てしやすい環境づくりは両輪であると考えている。今後も引き続き学校と児童との連携がより一層充実するように、教育委員会としても役割を果たしていきたい。公立保育所でも、令和2年度よりゼロ歳児保育を始めておりますが、澤本様がゼロ歳児を受け入れる施設の運営に関わってこられた頃よりも低年齢児保育の需要は高まっている。保護者の要望に応えられるよう、公立保育所を改築する際には、低年齢児保育の充実が図れるよう、施設整備を行っていきたい。

コロナ対策は全ての市民に

問 グルメチケット等支援方法は平等なのか。全ての市民に何らかの

支援が届くようにすべきではないか。

答 今回はコンビニのチケットサービスを使った購入で、混乱する方もいるのではないかといいことで、発売当初は商工会のサポート体制なども取っていた。今後、支援策を行う際には、今回の件も参考にして対策を考えていきたい。

問 国の臨時交付金は地域の要望に応じて自由に使える。市長会から国に対し、臨時交付金の増額を強く要望するように求める。

答 全国市長会からの要望は年間2回あるが、その要望の中へ、新たな国の支援ということに乗せていくことは可能だ。どのように市長会から上げることができるのか考えていきたい。

斉藤喜美子 議員



中学校の制服選択制とリユース

問 高知市や香美市の一部公立中学校でも制服をスカートとスラックスから選べるようになった。多様性や個性尊重、LGBTQの観点から南国市でも採用できないか。また、不用品になった制服のリユースの取組についても聞く。

答 香南中学校生徒会が中心となり、多様性やジェンダーレスの観点から制服の検討を行っている。既に校長会にも投げかけており、他の3校も今後取り組んでいくこととなる。制服のリユースについて、市内中学校に確認すると、制服を忘れ

たり、破れたり汚れたりした場合に備え、各校約5から10セット保管して貸出している。保管する制服は、卒業生から提供を受けたと聞いている。

南国市社会福祉協議会では、令和2年度の実績として、預かりが15件、提供が10件で、本年度も同程度の実績があると聞いている。教育委員会としても、学校には保護者の相談に応じて、制服のリユースの取組を紹介するなど、連携した取組を進めていきたい。

移住促進計画のこれ
までと今後の展望

問 リモートで仕事をされる方や自然の中で育児をしたい方など、都会からの移住者がせっかくなるのに受入相談窓口が分かりにくい。情報発信の工夫と庁内で連携したアフターケアの充実を求める。

答 移住を考えられている方は、移住支援ポータルサイトの高知県の「高知家で暮らす」やれんけいこうち広域都市圏の「こうち二段階移住」、そして本市の「なんこく移住計画」から情報を収集して相談にいられている。本市の移住相談窓口が分かりにくい点については、ポータルサイトをはじめ、必要な情報が分かりやすく伝わる内容になっているか、いま一度点検し、改善を図りたい。

移住者へのアフターケアについては、先輩移住者との交流会の実施も予定しており、移住者同士のネットワークづくりにもつなげ、移住専門相談員等を通じて、移住する地域へのつなぎ役としての役割も果たしていきたい。

丁野美香 議員



自転車のヘルメット着用について

問 大人へのヘルメット補助の実施を求める。

答 自転車における交通安全意識の醸成は子供たちだけでなく、周りの大人たちにも必要なことだと考えているので、今後研究を進めていく。

問 小学生のヘルメット着用進捗状況を問う。

答 実態確認はできていないが、各小学校においてヘルメット着用の推奨を行っている。

問 市職員の自転車通勤時のヘルメット着用の啓発はしているのか。

答 ヘルメット着用の推進は行っていない。けがの予防、頭部を守ることは大人も子供も

同じだと思うので、今後推進するようにする。

問 サイクリングコースと観光を一緒にした取組をやってみてはどうか。

答 中心市街地近辺は街路の整備が進み、シンボルロードや新しい大型施設なども順次完成することで街の様子が大きく変わってくる。こういった状況の下、中心市街地を拠点としたレンタサイクルの整備について、周辺地域への周遊を促すための取組の一つとして、ヘルメットの啓発も含め、検討を行っていききたい。

防災について

問 道の駅に防災倉庫は設置されているか。

答 現在道の駅風良里には、防災倉庫は設置をしていない。防災道の駅認定制度による取組が高知県によって進められると考えているので、その際には本市

も連携を取って検討したい。

問 津波による孤立も想定し、市南部の沿岸部に防災拠点が必要ではないか。

答 孤立が予想される地域に対しては、事前対策が重要と考えているので、分散備蓄を含めた取組を検討していきたい。

問 十市保育園の高台移転について聞く。

答 十市保育園の施設の移転は必要だが、移転先は決定していないので、運営法人と協力し移転を進めていく。

問 消防屯所と防災拠点の連携について聞く。

答 防災倉庫の設置については、屯所のスペース的な問題及び危機管理課の備蓄計画などと併せて検討していきたい。

有沢芳郎 議員



南国市の課題

問 これまで規制緩和したのは、高知大学医学部の半径2キロ内だけの宅地開発などごく一部。他に規制緩和する予定はないか。

答 規制緩和の効果を検証しており、人口動態また既存集落内の宅地、雑種地の活用可能面積を確認しながら、その状況を見ているところだ。その結果を踏まえた上で、さらなる規制緩和を検討したい。

問 集落維持のために子育て世代を呼び込む施策を問う。

答 総合的に子育てしやすい環境を整備することが子育て世代を呼び込むことにもつながると思う。今までも子

育て世代の負担軽減では、医療費の中学校までの無償化、保育料無償化なども公約にも掲げて進めてきた。そういう負担軽減は常に考えていかねばならないと思っている。

問 農業と商工業との振興をどう両立させるのか。

答 都市計画マスタープランに企業誘致を図る区域と国営圃場整備事業実施区域を含めた農地の保全を図る区域を全体構想の中に明確に位置づけを行っている。それによって、本市の土地利用方針の下、計画的に事業を進め、農業と商工業の振興を図っていききたいと思う。

学校施設について

問 市内のプール改修の進捗状況を聞く。

答 令和2年11月に、「学校・幼稚園プール施設長寿命化計画」を策定して、その計画を

基に、鳶ヶ池中学校、本年度の大篠小学校の改修に続いて、来年度は岡豊小学校のプールを改修する計画を進めている。

問 日章小学校のプールの改修は計画しているのか。

答 岡豊小学校の次の改修に、日章小学校と後免野田小学校のプール改修を検討している。

問 日章小学校の体育館フロアの状態が悪いと聞くが、メンテナンスは進んでいるのか。

答 日章小学校の体育館については、老朽化と摩耗が激しく、前回の業者による評価でも改善の優先順位の1番に上がっていたので、改修等について来年度の当初予算に計上するように現在準備を進めている。

野村新作 議員



違反選挙ビラの散布
は止めるべき

問 先の衆院選で「比例区は〇〇党」との違反ビラが日吉町、小籠、大坪で散布されていた。法定ビラの記載のない違法ビラだ。このような選挙運動は、善良な市民を欺く行為で、絶対に止めるべきだが、選挙はどのような対応をするのか。

答 選挙管理委員会に3件の電話があったので、県選挙管理委員会に連絡している。選挙管理委員会は、もともと選挙違反に関する個別の案件につき違法であるか否かの判断をなすべき権限もなく、また違反行為を取り締まるべき地位にもないと

の判例がある。

選挙違反の周知については、選挙の投票率の向上のためにも選挙の啓発は行わなければならないと思っている。広報紙等により選挙について啓発していきたいと思っている。

職員の事故・道路管理

問 平山市長の就任以降、職員の事故や市道の瑕疵で損害を与えたことによる専決処分は、17件報告されている。以前より毎議会のように専決処分の報告があるが、市道管理、安全運転管理はどうなっているのか。対策を徹底すべきだ。

答 職員の交通事故については、損害賠償の専決処分を行い、処理した事案が多数ある。その中には道路管理の瑕疵によるものもあるが、交通事故によるものが多数を占めている。事故報告書の内容を確

認すると、少し注意を払っていたら防げたものもある。職員は交通法規を守り、交通事故防止のため安全運転に心がけ、市民の模範となるよう努めなければならない。交通安全に関する研修会を平成27年、29年に実施して以降は実施していない。

職員の交通安全意識の向上のため、研修などを実施することにより交通安全教育に取り組んでいきたい。

道路維持管理の取組は、「傷んでから直す」といった維持管理だけでなく、「傷みがまだ軽微な段階から補修し、できるだけ長く使い続ける」といった予防型の維持管理を国の補助金などを活用しながら実施していくとともに、草木などの問題解決を模索しながら社会基盤である道路の保全を進めていきたい。

土居篤男 議員



政策と人口目標について

問 市長選の時の政策には、住民が住みやすい南国市を目指すところがあるが、どのように取り組むのか。市の人口が減少しない政策を求め

答 人口減少を止めることは、どのように人口減少幅を少なくするかということになってくると思う。そのためには、子育て支援、若い方の支援が必要になってくる。若い方の支援として総合戦略の中では、基本目標の3つ目に若い世代の結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえるという目標を立てて施策を展開しているところだ。

若者の所得の安定と向上、そして若者への結婚をするきっかけづくり、さらには子育て世帯の経済的負担を軽減することによって、子供を産み育てやすい環境を整えていきたい。

人口増加となる都市計画法

問 都市計画法は、市街化調整区域などで開発が規制されている。これでは人口増加は望めない。住宅に適した地区には住宅建築許可を出すなど、これ以上人口を減少させないような運用を求める。

答 本市では、これまで人口減少による既存集落の地域コミュニティ機能の維持といった喫緊の課題に対応するため、平成30年度に高知県から開発許可等の権限の移譲を受け、都市計画法の範囲内で本市独自の立地基準を条例で定めるなど、開

発許可基準の規制緩和を行ってきた。これによって、既存集落内の宅地・雑種地や空き家の活用ができるようになり、住宅建築も一定進みつつある。そのため、規制緩和は既存集落の地域コミュニティ機能の維持には一定の効果があると考えている。しかしながら、既存集落内の宅地・雑種地にも活用できる面積が限られていることから、さらなる規制緩和策を検討していく必要があると考えている。現在のところ、直ちに実施できる具体的な規制緩和策はないが、今後とも開発許可基準の規制緩和に関する検証を継続しつつ、その検証結果を踏まえた上で、本市のまちづくりの方針に沿った実現可能な規制緩和策を検討し、策定していきたい。

浜田憲雄 議員



南国スポーツパーク

問 南国スポーツパークの現状と管理・使用状況は。

答 令和2年度の使用状況は228件で、指定管理者としてNPO法人まほろばクラブ南国が予約受付等の管理を行っている。草刈りについては年1回、生涯学習課で業者を選定し直接発注している。

問 県東部サッカー協会から提出された整備要望内容は。

答 人工芝グラウンド1面のほか、新たにフットサルコート2面の新設、クラブハウスの改修、サッカーゴールの取り替えなどだ。

問 事業費とサッカー協会の助成金、市の負担は。

担当を問う。

答 概算で総事業費1億5480万円で、日本サッカー協会助成金6200万円、県のサッカー協会の施設整備留保金500万円を充当すると、市の負担は8780万円となる。

問 整備活用に向けた市長の所見を問う。

答 サッカー協会からの特定財源を活用し、リニューアル化でき、魅力的な施設となるのなら悪い話ではないとの判断で協議を進めてきた。

財源については、初期投資として起債が活用できるか否か、ランニング経費、維持経費などを吟味する必要があるのでは、これから協議を重ねていきたい。

防災・減災対策

問 二次避難所の位置、避難行動の周知方法は。

答 緊急指定避難所を事前に割り当てること

は難しく、状況に応じて災害対策本部から収容状況を確認した上で避難先を決定し、防災行政無線やつながッタワーアプリ等を活用して情報共有していく。

問 避難所への飲料水の配備数を問う。

答 現在2リットルベツトボトル9654本を津波避難タワー等の緊急避難場所の各備蓄倉庫へ備蓄している。

問 浜改田後川橋架け替え工事の車両全面通行止めへの対応を聞く。

答 西側の県道を経由して迂回が可能だ。歩行者、自転車等は、仮設橋を架橋現場の東側に設置し、通行に支障がないようにする。

問 東沢工事用道路の整備計画を問う。

答 令和4年度より用地交渉、令和5年度に工事に着手、令和6年に完成予定だ。

前田学浩 議員



事前復興について

問 南海トラフ地震における市の倒壊予想戸数が1万戸に及び、仮設住宅建設予定地のめどが立っていないが、南部の波力に耐えられない小学校を事前に再編、更地にするなどの準備が必要で、この危機意識こそが事前復興のスタートと言える。今後、市として重点的にどう進めていくのか。

答 事前復興まちづくり計画は、平常時から復興に向けたまちづくりを住民、事業者、行政の協働で進めていかねければならないこと、多種多様な分野との連携やその調整など、多くの人材も必要と思われることから、専属的

な部署の検討も必要だと考えている。

また、仮設住宅などの建設用地についても、まだまだ十分な確保に至っていない現状であり、早急に建設予定地の選定から地権者等の合意形成までの作業を円滑に行える体制づくりが必要と考えている。

公共交通の見直し

問 バス路線である「前浜〱十市パークタウン線」は、以前より朝夕の通勤以外、ほとんど乗客がいない。公共交通の見直しは、市長の選挙公約でもあり、朝夕以外のコミュニティバス化を図ることはできないか。2025年問題もあり、市内の路線体制の充実を。

答 利用の少ない市町村間幹線バス路線への対応については、利用状況やその他の公共交通を取り巻く状況を鑑みて、検討、対応して

おり、前浜〱十市パークタウン線についても検討を重ねていきたいと考えている。

市町村間幹線バス路線の運行見直しに伴って、沿線の住民に不便をかけている部分もあるので、コミュニティバス等でどう補っていくか、市中心部への公共交通をどう図っていくかについて、次期交通計画の策定過程の中で公共交通の利便性の確保に向けて方針を固めていきたい。

公共交通については、自家用車などの利用手段を持たない方にとって、日常生活での移動を可能とする重要な社会インフラであること、を前提とし、地域全体で守り育てていく必要があるものとして市民に啓発していきたい。

岩松永治 議員



南国スポーツパーク

問 人工芝の張り替えと新たな管理について問う。

答 人工芝のコート1面、フットサル2面等の全体経費の積算を終えている。管理は、指定管理者をまほろばクラブ南国から変更することはない。

問 張り替え後の維持費について問う。

答 再度の張り替え時の費用については現在の積算中だが、人工芝の耐用年数が10年と言われているので、張り替え費用が数千円ともなると、仮に地方債を充当して10年で再度地方債を起債して張り替えるのであれば、単年度の償還は数百万円にもな

ってくる。また、雨水に浸かるたびにピッチの清掃を行えば相当額のコストが生じてくる。

問 利用者と管理者へ早急に説明会を開くべきではないか。

答 管理者、施設利用者の意見を聞くのはもちろんのことで、話合の場をできる限り早い時期に設けていきたいと考えている。

公共施設等の喫煙所

問 受動喫煙防止の観点から、市内公共施設等の喫煙所整備はどのように進めているのか。

答 観光施設の喫煙場所について、西島園芸団地は観光ハウス内禁煙、入り口横及び観光ハウス北側に喫煙スペースを設けている。海

動喫煙対策は、慎重に対応する必要がある。

道の駅南国は施設内全館禁煙、施設北側の観光案内マップ前に灰皿を置き喫煙スペースとしている。来館者から施設としての喫煙所設置に対する要望はないが、受動喫煙防止の観点からの対応は重要と考えている。

問 健康増進法の一部を改正する法律の3つの基本的な考えに沿った、環境と景觀に配慮された喫煙所の整備について問う。

答 それぞれの公共施設で禁煙、分煙という視点で対策がなされているか再度確認する必要がある。新たな喫煙所の整備を行う場合には、3つの基本的な考えにのっとり、環境と景觀に配慮された喫煙所とする必要があると考えている。

議 会 日 誌

12 月	11 月	10 月
21日・地域交流センター建設工事請負契約調査特別委員会	29日・市政連絡会	4日・市政連絡会
16日・議会運営委員会	8日・産業建設常任委員会視察(AITOSA)	7日・教育民生常任委員会
3日・第16回・第424回市議会定例会	5日・議会運営委員会	12日・議会だより編集委員会
2日・14日・議会運営委員会	3日・姉妹都市岩沼市制施行50周年記念式典(宮城県岩沼市)	20日・全国民間空港所在都市議会協議会臨時総会(書面開催)
	第423回市議会臨時会	25日・産業建設常任委員会
	西島園芸団地調査	26日・トップセミナー(高知市)
	特別委員会	29日・市政連絡会

議 決 結 果 一 覧 (11月臨時会・12月定例会)

■11月臨時会 (11/5)

◆議 案

- 1号・地域交流センターフルコンサートグランドピアノ購入契約の締結について…全会一致で可決
- 2号・地域交流センター舞台照明備品購入契約の締結について……………全会一致で可決
- 3号・地域交流センター舞台大道具備品購入契約の締結について……………全会一致で可決
- 4号・地域交流センター家具備品購入契約の締結について……………全会一致で可決
- 5号・副市長の選任の同意について……………全会一致で同意
- 6号・監査委員の選任の同意について……………全会一致で同意

◆報 告

- 1号・一般会計補正予算の専決処分の承認について……………承認

議 決 結 果 一 覧 (11月臨時会・12月定例会)

2号・損害賠償の専決処分の報告について……………	報	告
3号・損害賠償の専決処分の報告について……………	報	告
4号・市営住宅明渡等請求に関する和解の専決処分の報告について……………	報	告
5号・市営住宅明渡等請求に関する和解の専決処分の報告について……………	報	告

■12月定例会 (12/3～16)

《令和2年度決算》 (9月議会継続審査分)

1号・一般会計歳入歳出決算……………	賛成多数で認定
2号・住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算……………	全会一致で認定
3号・土地取得事業特別会計歳入歳出決算……………	全会一致で認定
4号・農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算……………	全会一致で認定
5号・国民健康保険特別会計歳入歳出決算……………	全会一致で認定
6号・介護保険特別会計歳入歳出決算……………	全会一致で認定
7号・企業団地造成事業特別会計歳入歳出決算……………	全会一致で認定
8号・後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算……………	全会一致で認定
9号・水道事業会計決算の認定について……………	全会一致で認定
10号・下水道事業会計決算の認定について……………	全会一致で認定

《令和3年度補正予算》

1号・一般会計補正予算……………	全会一致で可決
2号・住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算……………	全会一致で可決
3号・農業集落排水事業特別会計補正予算……………	全会一致で可決
4号・国民健康保険特別会計補正予算……………	全会一致で可決
5号・介護保険特別会計補正予算……………	全会一致で可決
6号・企業団地造成事業特別会計補正予算……………	全会一致で可決
7号・後期高齢者医療保険特別会計補正予算……………	全会一致で可決
8号・水道事業会計補正予算 (第2号) ……	全会一致で可決
9号・下水道事業会計補正予算 (第1号) ……	全会一致で可決

《その他》

10号・債権管理条例……………	全会一致で可決
11号・国民健康保険条例の一部を改正する条例……………	全会一致で可決
12号・廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例……………	全会一致で可決
13号・市道の認定について……………	全会一致で可決
14号・市有財産の処分について……………	全会一致で可決
15号・教育委員会教育長の任命の同意について……………	全会一致で同意
16号・監査委員の選任の同意について……………	全会一致で同意
17号・人権擁護委員の推薦について……………	全会一致で同意
18号・人権擁護委員の推薦について……………	全会一致で同意

◆報 告

1号・一般会計補正予算の専決処分の承認について……………	承	認
2号・損害賠償の専決処分の報告について……………	報	告
3号・中央地域交流センター(仮称)建設工事請負契約金額変更に係る専決処分の報告について……………	報	告

◆議員提出議案

1号・保育所等の最低基準(職員配置・面積基準)と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書(前田学浩議員ほか19名)……………	全会一致で可決
2号・地域交流センター建設工事請負契約調査特別委員会設置に関する決議(野村新作議員ほか8名)……………	賛成多数で可決
動議・南国市中央地域交流センター(仮称)建設工事請負契約金額変更に係る専決処分のうち、 壁画制作にかかわる増額分の調査に関する決議案(中山研心議員ほか2名)……………	賛成少数で否決

賛否の分かれた議案等

○賛成 ×反対 一議長(議長は賛否に加わりません) 欠…欠席

議員名	杉本	丁野	西山	神崎	植田	西本	浜田	齊藤喜美子	岩松	西川	土居	有沢	中山	前田	村田	岡崎	野村	浜田	土居	福田佐和子	今西	結果
議案番号	理	美香	明彦	隆代	豊	良平	憲雄	美子	永治	潔	恒夫	芳郎	研心	学浩	敦子	純男	新作	和子	篤男	和子	忠良	
議発2号	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
動議	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	否決

12月議会初日、3つの常任委員会及び議会運営委員会の1年間の任期満了に伴い、それぞれ新たな委員が選任されました。

また、12月議会最終日には、議員発議による「地域交流センター建設工事請負契約調査特別委員会設置に関する決議」が賛成多数で可決となり、特別委員会の設置と委員が選任されました。

各種委員会の委員が決定

(各常任委員会・議会運営委員会・特別委員会)

産業建設 常任委員会

農林水産、農業委員会、建設、都市整備、商工観光、上下水道に関する事項

【任期1年、7名】

◇委員長／植田豊（無所属・岡豊町）
◇副委員長／土居篤男（日本共産党・十市）
◇委員／西山明彦（無所属・大埴甲）、齊藤喜美子（無所属・白木谷）、中山研心（立憲民主党・元町）、野村新作（無所属・篠原）、浜田和子（公明党・大埴甲）

総務 常任委員会

総務、財政、企画、税務、危機管理、消防、他の常任委員会の所管に属さない事項

【任期1年、7名】

◇委員長／丁野美香（無所属・緑ヶ丘）
◇副委員長／今西忠良（社会民主党・久礼田）
◇委員／神崎隆代（公明党・日吉町）、西本良平（無所属・成合）、浜田憲雄（無所属・浜改田）、有沢芳郎（無所属・田村）、福田佐和子（日本共産党・大埴甲）

教育民生 常任委員会

教育委員会、福祉、保健、民生、環境に関する事項

【任期1年、7名】

委員長／村田敦子（日本共産党・東崎）
◇副委員長／西川潔（無所属・岡豊町）
◇委員／杉本理（日本共産党・片山）、岩松永治（無所属・久礼田）、土居恒夫（無所属・十市）、前田学浩（無所属・稲生）、岡崎純男（無所属・福船）

◇ 地域交流センター建設工事 請負契約調査特別委員会

【設置期間／議会が終了を議決するまで】
【10名】

◎委員長／今西忠良
○副委員長／西本良平
委員／杉本理、丁野美香、西山明彦、神崎隆代、齊藤喜美子、岡崎純男、野村新作、福田佐和子



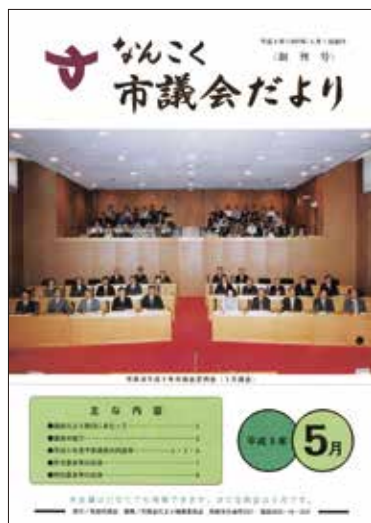
1月6日 現地確認の様子

◇ 議会運営委員会 【任期1年、10名】

議会の運営に関する事項、議会の会議規則・委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項及び議案・陳情等を審査。

◎委員長／野村新作
○副委員長／神崎隆代
委員／杉本理、丁野美香、西山明彦、西本良平、齊藤喜美子、土居恒夫、福田佐和子、今西忠良





第10号(平成11年)

第20号(平成14年)

第30号(平成16年)

第40号(平成19年)

創刊号
(平成9年)



第50号(平成21年)



第60号(平成24年)



第70号(平成26年)



第80号
(平成29年)



第90号
(令和元年)

創刊から25年 議会だより発行 100回に到達

議会だよりは今月号で100号となりました。「なんこく市議会だより」の創刊号が発行されたのは平成9年5月。それ以降、年4回の発行を続け、25年間で100号に至りました。

創刊当時は8ページの紙面で、現在の半分のページ数でした。創刊号の発行にあたっては、他市町村の議会だよりを参考に編集、構成したそうです。

10号区切りで創刊号から90号までの表紙を紹介します。

- 12月定例会市議会の会議録は、2月末以降に市ホームページ (<http://www.city.nankoku.lg.jp>)、議会事務局のほか、市立図書館で閲覧できます。
- 次回の定例会市議会は3月4日開会予定です。傍聴はどなたでもできます。

◎市議会だより編集委員会

委員長	西山明彦
副委員長	土居恒夫
委員	杉本隆代
〃	神崎喜美子
〃	斉藤
〃	中山研心

(西山)

年々変わり心機一転、新たな目標に向けて取り組まれている方も多いと思います。編集委員会も新メンバーとなり、より良い紙面作りを目指してまいります。

さて、一昨年以来、新型コロナウイルス感染症に翻弄され続け2年が経過しました。感染予防対策やワクチン接種の効果からか、一時期はその猛威も落ち着いてきたかと思われましたが、オミクロン株の出現による第6波に突入しました。マスク着用や手指消毒はすでに生活の中に定着していますが、気を抜くことなく引き続き感染拡大予防の徹底が必要です。一日も早くコロナ禍が収束し、日常生活が回復することを願っています。

編集後記